国別援助方針又は国別開発協力方針　別紙

対 ジョージア　事業展開計画

2022年12月現在

基本方針（大目標）	人材育成･インフラ支援･ビジネス環境整備を通じた魅力ある国作りに寄与する支援

重点分野１（中目標）：安定した経済成長促進のための支援

開発課題１－１（小目標）：社会・経済インフラ整備

【現状と課題】
ジョージアでは、ソ連時代に整備されたインフラ設備の老朽化が進み、その劣化は著しくなっている。一方でジョージア政府は地域のロジスティクス・ハブ国となることを目標とするとともに、より多くの観光客の訪問を促進するため、高速道路や港湾などの運輸インフラ整備を積極的に進めている。

【開発課題への対応方針】
安全性・開放性・経済性などのガバナンスを重視した鉄道・道路・港湾等の経済インフラの整備に対する支援を通じて，国際社会全体が裨益できる物流インフラの連結性の強化に努める。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度以降	支援額（億円）	SDGs	備考
社会・経済インフラ整備プログラム	ジョージアでは、ソ連時代に整備されたインフラ整備の老朽化が進んでいることから、経済成長にとって重要な経済インフラを改善することを目指す。	IT分野の課題別研修	課題別研修他								-	9	

重点分野２（中目標）：環境に優しく，自然災害に強い社会の構築に対する支援

開発課題２－１（小目標）：環境に優しく，自然災害に強い社会の構築

【現状と課題】
ジョージアはクリーンエネルギーの普及促進を目指す一方で、廃棄物処理システムやゴミの分別が進んでおらず環境面の課題は多い。さらに、地震帯に位置し活断層も多いため、地震、地滑りなどの自然災害の危険性が常に高い。また、2017年度夏には大規模な森林火災が発生している。したがって、防災対策の強化が不可欠である。

【開発課題への対応方針】
日本の技術・政策に関する知見の共有といったソフト面での援助に併せ、高い環境技術を有する日本企業の進出を促し支援していく。また、地震・洪水・大規模火災等の対策の充実に向けた支援を人材育成支援を含め実施していく。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度以降	支援額（億円）	SDGs	備考
環境対策プログラム	環境分野において、クリーンエネルギーの普及促進や廃棄物システムの導入などをとおして環境課題の解決を目指す。	環境対策分野の課題別研修	課題別研修他								-	11,12	
		再生エネルギー分野の課題別研修	課題別研修他								-	7,11	
防災プログラム	防災に関する行政能力を高める。	総合防災分野の課題別研修	課題別研修他								-	11,12	

重点分野３（中目標）：産業振興のための人材開発に対する支援（農業、地域開発、ＳＭＥ）

【現状と課題】
ジョージアにおける市場経済化の浸透は順調であるが、他方で都市及び農村間の地域格差並びに住民間の所得格差が顕在化しつつある。

【開発課題への対応方針】
民生安定と格差是正の観点から、農業関連の技術指導などを通じた生産性向上、職業教育の充実、ＳＭＥ等の育成機会の向上策支援などを推進する。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度以降	支援額（億円）	SDGs	備考
中小企業・観光振	ジョージア政府の取組を支援し、中小企業や観光分野の振興に必要な人材育成等で協力を展開していく。	観光分野の課題別研修	課題別研修他								-	8	
		輸出振興分野の課題別研修	課題別研修他									8	

開発課題３－１ （小目標） 産業振興のための人材開発	中小企業・観光振興プログラム		中小企業・観光振興分野のJICA協力隊	JOCV									8		
			中小企業分野の課題別研修	課題別研修他									8		
			中小零細事業者支援事業	有償（海外投融資）									8		
	農業・地域開発プログラム	農業や地域振興などの活性化に資する機材供与、施設整備に加え、技術術協力プロジェクト、専門家派遣及び研修などを通じて有益な協力を展開していく。	ビジネスを指向したモデル農協構築	個別専門家								-	8		
			コミュニテイにおける農協開発	国別研修								-	2，8		
			農業分野の課題別研修	課題別研修他								-	2		
			食料安全保障のための農学ネットワーク(Agri-Net)	国別研修								-	2		
			ジョージア国ディスヴェリ村女性酪農協同組合における酪農技術向上プロジェクト	草の根技協								-	2，5		
			農業・地域開発分野のJICA海外協力隊	JOCV								－	2，5		

重点分野４ （中目標）	社会セクターに対する支援（保健・医療、教育）

開発課題４－１（小目標）　社会セクター開発

【現状と課題】
特に地方の貧困層に直接裨益する社会インフラの改善や人的資本開発（保健・教育）などは、国内の経済成長及び地域の貧困削減対策として重要度の高い課題である。

【開発課題への対応方針】
都市と地方の格差は年々大きくなっており、地方における社会インフラの改善や人的資本開発につながる保健・医療や教育への協力が重要であり、貧困削減対策として位置づけ実施していく。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度以降	支援額（億円）	SDGs	備考
保健・医療プログラム	母子保健分野及び救急医療分野を中心に、医療従事者の人的資本開発や旧ソ連時代に整備された体制・インフラ設備の改善をとおして、医療格差の是正及び保健・医療サービスの向上を目指す。	保健・医療分野の課題別研修	課題別研修他								－	3	
		新型コロナウィルス影響下における医療機関のキャパシティ強化プロジェクト	技プロ								-	3	
		早期胃癌の内視鏡診断と治療	国別研修他								-	3	
		医療機材管理・保守	国別研修他								-	3	
教育プログラム	ジョージア政府は、投資促進、工業団地の建設等の工業振興政策をとっているが、労働市場のニーズに対応しうる人材育成とともに、就学前教育も課題となっている。	教育政策アドバイザー	個別専門家								-	4	
		地方自治分野の課題別研修	課題別研修他								-	4	
		教育分野の課題別研修	課題別研修他								-	4	
		初/中等教育分野の青年研修	課題別研修他								-	4	
		SDGsグローバルリーダー・コース	国別研修他								-	4	

【凡例】　「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「基礎情報調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「ＪＯＣＶ」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・ＪＩＣＡ以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」（＝途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「水産無償」（＝水産無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本ＮＧＯ」（＝日本ＮＧＯ連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「情報収集調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、実線「———」（＝実施期間）、破線「- - - -」（＝実施予定期間）　※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。
【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」
【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf